

GW 大型連休期間における情報セキュリティ対策 **重要**

長期休暇によりシステム管理者等が不在でセキュリティインシデントが発生した場合、対応に遅延が生じたり、事業継続に影響が及ぶ可能性があります。
下記項目を確認して、確実に対策を実践してください。

連休前

■ システム管理者・担当者

- 不測の事態に備え、委託先企業を含めた緊急連絡体制、対応手順の確認
- メンテナンス等の予定がある場合、連休前に組織内ネットワークへの機器接続ルールを確認
- 連休中に使用しないサーバ等の機器は電源をOFF

■ 社員、職員など（組織内ユーザー）

- PC等の機器や情報を持ち出す場合、持ち出しルールを確認
- 連休中に使用しない機器は電源をOFF

チェックポイント！



連休後

■ システム管理者・担当者

- 連休中に公開された修正プログラムの確認、適用
- ウイルス対策ソフトの定義ファイルの確認、更新
- サーバ等に対する不審なアクセスがないか、各種ログの確認、調査を実施

■ 社員、職員など（組織内ユーザー）

- 連休中に公開された修正プログラムの確認
- システム管理者の指示を受け適用
- ウイルス対策ソフトの定義ファイルの確認、更新
- 組織内ネットワーク接続前に持ち出したPC等のウイルスチェックを実施
- 心当たりのないメールの添付ファイルは開かず、本文のURLに接続しない
- 休暇中に受信したメールのチェックに注意

出典：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）「2024年度 ゴールデンウィークにおける情報セキュリティに関する注意喚起」
<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/heads-up/alert20240422.html>

サイバー犯罪の被害に遭われた場合は、**最寄りの警察署**に通報・相談してください。

◆ 福岡県中小事業者サイバーセキュリティ支援ネットワーク（通称：F-CSNET）とは、県内中小事業者のサイバー犯罪被害の未然防止・拡大防止を目的として、県内の中小企業支援団体と公的機関で構築したネットワークです。

◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手法や対策などを、X（旧Twitter）やホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【X】
（旧 Twitter）



【HP】

